



ときのまど

時の窓

TOKI NO MADDO

No.185

2016/2/25

新採用者全員を仲間に！友好祭典を10月に！ 中国地連青年部長会議&労働学校

中国地連は、1月30日から31日にかけて、広島市で青年部長会議と労働学校を、各支部から4名以上の参加(合計23名)で開催しました。

今回は、採用間もない青年を中心に参加者を募ったため、採用3年以内の青年が12名参加しました。



4月歓迎会のイメージを共有 友好祭典の成功にむけて活動していく

1日目の青年部長会議では、昨年4月期の新採用者100%加入という結果を本年も続けるためのとりくみを支部別で討議し、発表しました。参加者に1年目の方も多くいたので、勧誘を受けた側からの良かった点、悪かった点を確認し、4月の歓迎会にむけたイメージを共有しました。

そして、本年10月に中国地連青年友好祭典を開催するにあたり、前回(5年前)の友好祭典を説明し、開催地を決めました。今後は財政活動、内容、参加者の募り方など、各支部がそれぞれ課題を持ち帰り、中国の青年全体で友好祭典の成功にむけて活動していくことを確認しました。



クイズで楽しみながら学習 要求のまとめ方も学ぶ

2日目の労働学校では、午前中は地連の方々が作成された「全司法クイズ」を支部別に回答し、楽しみながら組合について学ぶことができました。

午後からは、青年層には理解のしにくかった「折衝」について学習をしました。各支部が模擬の職場要求をまとめ、支部執行委員会にかけ、そこから、地連が当局とどのような折衝をしているのかという一連の流れを地連役員の方々による迫真の実演を受け、今後自分たちの要求をどのようにまとめていけばいいのかということ学ぶことができました。

参加者からは「組合の意義を学習できた」、「4月の新採用者の歓迎を頑張りたい」という前向きな感想が述べられました。感じたことを各支部に還元することが、組織強化・拡大の一助になると思います。自己の反省も含め、まずは4月の勧誘にむけて、ひいては10月の友好祭典にむけて頑張ろうと感じた2日間でした。(中国地区担当常任)

全司法青年協

検索



「爆買い」の影響！？鳥栖市で開催！

九州地連
青年部長会議

1月30、31日の2日間に渡り、佐賀県鳥栖市において九州地連支部青年部長会議を開催いたしました。通常、福岡市で開催している本会議ですが、昨今爆買いで注目されている訪日外国人の激増等が要因となり、福岡市のホテルが慢性的に不足していることから、今回は福岡市に近い鳥栖での開催となりました。遠方から参加していただいたみなさまにはご迷惑をおかけいたしました。この場をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。

運動方針と重点要求を確認 「遊び、学ぶ青年部」を实践したい

さて、本会議は、九州地連の青年部トップが一堂に会し、今年度の運動方針を確認するとともに、春闘期に当局に提出する九州地連重点要求書の確立及び今年度の地連、各支部の課題を話し合うことが主な目的になります。併せて、「遊び、学ぶ青年部」を实践したいという想いから、学習も3コマ設定し、支部に持ち帰って還元学習にも使用しやすい題材、レジュメを意識して準備させていただきました。今後、各支部のご奮闘を期待しています。

討議については、会議前に事前検討事項を各支部に送付し、機関討議を行った上で臨んでいただきました。独自要求書を確立している支部において、部員に対する意見集約の方法に関して発言がありました。独自要求書の作成に至らない支部においても、所長交渉時等のツールとして、ゆくゆくは独自要求書の策定に向けて、とりくみを検討していただくようお願いいたします。



九州の青年で認識共有 課題をひとつひとつクリアしていこう

そのほか、執行部の運営や役員選考、レク、学習、財政活動等について、活発な発言がなされました。会議内の発言だけでなく、おしゃれな古民家カフェバーで開かれた懇親会においても九州青年で認識の共有が図れたと思います。地連、支部ともに課題や宿題はたくさんありますが、目の前のことをひとつひとつクリアして、活発な青年組織をみんなで作っていきましょう！（九州地区担当常任）



最高裁はかく語りき

コラム
Vol.6

健康診断

一般定期健康診断の項目や対象者は人事院規則で定められており、裁判所のみで定めることは難しい。女性のがん検診の方法については、厚労省において乳がん検診におけるエコー検査の有効性の検証、子宮頸がん検査については、HIY検査の併用について検討されていることは承知している。今後の検討状況を見守りたい。

2015年秋季年末闘争期における最高裁交渉(青年協)

次号予告

第3回常任委員会など